

芦屋市にある浜風小学校の5年生の皆さんに、『流れる水の働き』の学習の一環で、六甲山の特徴や過去に発生した土砂災害、六甲山地における砂防事業などについて学ぶ出前講座を実施しました。

概要

日時：平成27年12月8日（火）
13:45～15:20
場所：芦屋市立浜風小学校

○六甲山地の土砂災害対策や水の働きについて

室内での講義では、流れる水の働きという学習の一環で、流れる水の働きについて説明すると共に、六甲砂防事務所が取り組みを進めている土砂災害対策をはじめ、六甲山地の成り立ちや過去に発生した昭和13年阪神大水害、平成7年の阪神・淡路大震災、平成26年台風11号などの災害などについて説明しました。

また、実際に発生した土石流の記録映像を映し、土石流の特徴や恐ろしさについて確認してもらいました。



水の働きや六甲山地の砂防事業などについて



土石流模型実験

○実験による「土砂調節機能」の体験

室内講義の後は屋外に移動して、土石流発生装置を用いた模型実験を行い、砂防えん堤による「土砂調節機能」を体験してもらいました。

児童の皆さんは、室内講義や模型実験の内容をフィールドノートに書き込み、講座の最後には感想を発表してもらいました。今回の室内講義や模型実験を通して、水の働きや砂防事業について学んでもらうことが出来ました。



六甲山地で過去に発生した災害について



砂防えん堤による土砂調節機能の体験

【お問合せ先】

国土交通省 近畿地方整備局
六甲砂防事務所 調査課

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町3-13-15
TEL：078-851-0535

